

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編 集：季刊誌発行委員会

第30号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん こんにちは。
 今夏のすさまじい猛暑もようやく9月の半ばを過ぎ、朝夕がしのぎやすくなってまいりました。あたりの田圃では稲刈りシーズンをひかえて、稲穂が次第に黄金色になり、頭を垂れてまいりました。昨年3月11日の東日本大震災のあの生々しい

悲惨な被災から約1年半が経ち復旧・復興途上にこの夏の集中豪雨が各地を襲い、私達の枚方でも低地地のかなりの水害被害が発生しております。自然災害が忘れた時にやってくるというのは過去の格言で、私達は常に身をもってその備えをもっておく事を確信づけられました。

さて、スポーツの秋、芸術の秋の到来ですが、私達の社会をより平和な自由な幸せなものにする最も大切な政治の世界のリーダーが大きく変化を遂げる時期となっております。

世界の2大大国であるアメリカと中国の最終選挙もこの10月にせまり、わが国も国政の解散総選挙も間近となっております。特に我々の日本が未来に向かってどのような進路の舵取りを行っていくか、高い志の

政策をかかげ国民のために勇敢に実行するリーダーが求められるところです。

さて、私共の医療法人みどり会で建設中の新中村病院は、お陰様で工事関係者の進行はもとより、地元の関係皆様、政治・行政をはじめ、われわれの業界である医療・福祉その他様々な関係団体の温かい御支援により、私達法人スタッフは勇気と希望の励ましの力をいただき、この12月1日オープンに向けて最終段階に入っております。

オープン後はこのハード面の新病院の建物をフルに使って地域医療のニーズを精一杯受けとめ、チーム医療で頑張っております。

どうか今後とも御指導・御鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。



新病院進捗報告

総務課長 岡崎 基

中村病院の新築工事も建設が進むにつれ、外観も大きく様変わりしてまいりました。

この夏、枚方市では大雨による浸水があるなど、天候が例年になく不安定でしたが、関係業者の着実な施工により予定通り工事が進んでおります。

現在では、外観工事も終わり内装工事が主になっております。内装は職員だけでなく、患者様にも直接目に触れ、身体に触れる部分ですので使い勝手だけでなく視覚的にも落ち着いた色合いを心がけております。

また、新病院の体制に合わせた医療機器や設備も納品され、今まで多くの時間をかけて話し合われたことが、目に見える形となって現れてくると、いよいよ病院移転が本格的に始まるものと身が引き締まる思いであります。皆様には改めてご覧いただく日を設けたいと思いますので是非ともご来場をお待ち致しております。なお、新病院での外来診療開始は12月3日(月)より予定しております。



新任整形外科医師就任・紹介 ～整形外科医としての超高齢化社会での役割～ 整形外科医師 浅田 卓



この度平成24年10月1日付をもちまして関西医科大学大枚方病院から中村病院整形外科に赴任して参りました浅田 卓です。皆様方に謹んでご挨拶を申し上げます。

“平成21年版高齢社会白書”によると、今の日本は高齢者が総人口に占める割合（高齢化率）は22.1%、

つまり5人に1人以上が高齢者という超高齢社会に突入しています。そんな中での高齢者医療として内科的治療はもちろんのことですが、整形外科の中でも股関節痛や腰痛などの加齢性変化に加え、転倒などによる骨脆弱性骨折が重要なものになってくると考えられます。私自身、専門は股関節で関西医科大学大枚方病院では加齢性変化の一つである変形性股関節症に携わってきました。

長年の変形性股関節症で友達や家族と旅行にも行けず、日常生活のあらゆることに我慢を強いられて、ひどいときにはポストに郵便物を取りに行くことすらままならない状況だった人が、人工股関節置換術をしたとたん初診時とは見違えるほどの笑顔を取り戻されることは私たち医療人に取っては何にも代え難い喜びでした。

股関節専門であった私が、今後中村病院においてどのようにお役に立てられるかを考えた時に、高齢者の転倒

骨折を含めた外傷医療（急性疾患）はもちろんのこと、変形性股関節症や変形性膝関節症などの慢性疾患にも多少なりとも携わることが出来ればこの先の超高齢化社会における中村病院の位置付けは確固たるものになるのではないかと勝手に夢想したりしております。ただ先ずは、目先のこととして、外傷医療を頑張っていかなければ……こんな私ですが、何卒よろしくお願いします。



手術室完成予定図



導入予定のMRI



中村記念病院

新病院へ向けて ～中村病院回復期リハビリテーション病棟へ移行～ 中村記念病院 管理者 泉 知子

中村記念病院を統合する形で新中村病院の開設が目前にせまっております。

12月1日をもって中村記念病院の名はなくなり、中村病院の回復期リハビリテーション病棟としてその役割を引き継ぐこととなります。

回復期リハビリテーション専門の病院として皆様から親しまれてきた中村記念病院の名前がなくなることは、やはり寂しい気持ちがございます。



新病院イメージパース図



平成18年4月に開院され、今日まで6年半の間、医師・看護師・リハ療法士・薬剤師・栄養士・介護士など全スタッフが丸となりチーム医療を心がけ、患者様を中心とした質の高い、信頼される医療サービスの提供に邁進してまいりました。

開院当初は、未熟な点も多く、皆様方にどこまで満足いただけたのかと今思えば不安な一面もありますが、病院の理念でもあります知識・技術・人間性の向上をめざし、日々研鑽を重ねてまいり、それぞれのスタッフが、現在では自信を持ってリハビリ医療を行っていると感じております。

今後におきましても、中村記念病院で積み重ねてまいりました経験を、新たな中村病院においていかに発揮し、患者・家族様に心から安心いただき、満足いただけるリハビリ医療を目指してまいります。

その中で、皆様方からの率直なご意見は、私どもの成長の糧になるものであり、また励みとなるものでございます。

どしどしご意見をいただきましたら幸甚でございます。

新病院で皆様方のご期待に添えるよう全職員がそれぞれの持ち場で頑張っております。

よろしくお願い申し上げます。

サテライトの健康教室

医師 南 吉一

サテライトなごみの里で月一回、健康教室を担当しています。

四部構成で、まず「座椅子ヨーガ」紙の棒で背中回しを行ったり、9月は仏画の前で合掌して亡き父母とお話をして頂きました。

次に「健康の話」9月は『心肺力』『排尿力』がテーマで、切実な質問も飛び交います。

「頭の回転」では唱歌を三曲連続でギターに合わせて歌詞を見ずに合唱に挑戦です。

最後は「いのちの紙芝居」DVDを上映して、(9月は『月と墓石])健康長寿を話し合いました。

皆さん、久しぶりに勉強会に参加した喜びを全身で表現しておられました。

10月は12日(金)14時から二階フロアで開催します。



*その他に、サテライトなごみの里では毎月第一金曜日に、入所・デイサービス合同で、『笑いヨガ』(笑うことは健康に良く、リハビリ効果にも役立つ)を8月より講師を招いて行っています。

剥離事故の予防について

リスクマネジメント委員会 副委員長 玉置 賢

高齢になると皮膚の弾力性が低下し傷つきやすい状態になります。剥離の際に傷の処置だけでは事故は再発しやすく、十分な対策とは言えません。

なごみの里では剥離の原因を調査し、様々な対策をとっています。例えば、剥離しやすい部位を特定し、長袖やアームウォーマーを使用したり、車椅子の肘置きやベッド柵にタオルを巻いたり、ご家族と相談して前開きの着衣を用意

して頂いたりして皮膚を保護していきます。また、リハビリ科と連携して利用者様の移乗方法の再検討をしたり、栄養科から栄養補助食品を提供してもらうこともあります。

なごみの里では事故の再発予防はもちろんですが、利用者様が安心して過ごせるよう様々な職種が力を合わせて取り組んでいます。

枚方市地域包括支援センターみどり

『みどりの地域交流会』を開催!

社会福祉士 峠 賢一



先日、包括みどり会議室にて「鶴亀扇づくり」を開催し、当日は10名程の地域の方や、地元グループホーム入居者様が来られました。「次はどうしたら良い?」と確認しながら、ゆっくりと2時間程かけて折り紙を完成する事が出来、最後まで折ることが出来なかった方も、出来た方も、皆さん笑顔で帰って頂く事が出来ました。

今後も地域の皆様との様々な交流会を通して、絆を深め、日々の生活が、少しでも楽しく、明るく、元気に過ごして頂ける様なイベントを企画し、高齢者サポートセンターをもっと身近に感じて、気軽に相談できるような街づくりを、今後も更に展開していきたいと思っております。

社会福祉法人 松樹会

藤阪夏祭り

グループホームたんぼほ藤阪 管理者 竹之内 真一

9月8日土曜日に藤阪では、ケアハウス、グループホーム合同での毎年恒例の夏祭りを開催しました。前日に、職員総出で施設内の飾りつけを行いました。リーダーシップを執っていたのが、20代の職員達で、ベテランの職員が飾りつけを見て、「若い衆の発想はさすが違うねえ」と感心していました。

ベテランの職員は、翌日のたこ焼きの仕込みをせせせと行い、ほかの職員は利用者様の写真を沢山貼り、普段見慣れた施設が、展覧会のように変身しました。

夏祭りという目標を持ち、夜遅くまで職員総出で作業に取り組み、全職員が一つにまとまりました。

祭り当日は、天候が不安定で、少し雨が降りましたが、月1回ボランティアで来ていただいている丹羽さんによる

カラオケショーで演歌、童謡を熱唱して盛り上げてもらい、ボランティア「氷室MCガール(総勢12名)」によるフラダンスショーで夏気分を味わい、最後には男性職員の仮装行列で大笑いを取り、利用者の皆様楽しんでもらえました。

ボランティアで来て頂いた皆様、来場された家族の皆様、祭りに携わった全職員、無事祭りを終える事が出来、本当にお疲れ様でした。



医療法人 みどり会、社会福祉法人 松樹会 平成23年度年報発行

医療法人みどり会（中村病院、中村記念病院、なごみの里、地域包括支援センターみどり）、社会福祉法人松樹会の平成23年度版年報5誌を発刊いたしました。

継続は力なりとは言いますが、6年目の年報も無事に発刊した事に安堵しつつ、作成に当たり、年間の反省点なども垣間見る事が出来ました。

今後の病院・施設運営において、患者様や利用者様へのサービス向上に向けて、職員一同邁進してまいりますので、御指導を賜ります様宜しくお願い致します。

（記：情報室 今藤）



糖尿病療養指導士を取得して 中村病院 看護師 村佐 揚子／平野菜美子／新村かおり

当院では糖尿病患者様が教育目的で入院されている事が多く、又、コントロール不良で再入院される患者様もいらっしゃいます。

私達は患者様中心の医療のために、医師が指示する治療方針を正しく適切に伝え、患者様の生活を理解し、自己管理出来る様にしていきたいと考えています。

それには、医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・理学療法士等各専門職が一つのチームとして連携指導を行う事が大切であり、必要であると感じております。

そのためにも私達が糖尿病への理解を深め、患者様により良い療養環境が提供できる様スタッフに対する教育も充実し

ていかなければなりません。

糖尿病教育は患者様だけではなく、スタッフへの教育・理解も大事であると思っております。私達は患者様への指導を通じて日々成長していけるよう努力していきたいと思っております。



平野 新村 村佐

ゴルフ同好会 –コンペ開催–



今年度から発足いたしましたゴルフ同好会では、ゴルフコンペを8月18日(土)猛暑の中、宇治田原CCで開催いたしました。第一回という事で参加者は10名でしたが、中村理事長の始球式から表彰式まで暑さで体調を崩される方もなく無事閉会いたしました。

今後は年二回のコンペ開催を予定しており、ゴルフ初心者から上級者まで多くの方々が参加して頂ける様にしたいと思います。

（記：篠原）

釣り同好会 –イカ釣り–



釣り同好会2回目の企画として「イカ釣り」を開催しました。

当日は夜通しの海釣りということで、一隻の船を貸し切りました。夜半前に舞鶴港を出発。丹後半島沖にてイカ釣りを開始。途中、船酔いをする参加者もいましたが、船の上で釣り上げたイカをさばいて舌鼓を打ちました。

参加者全員が釣りの成果を上げ、今回も満足のいく結果となりました。次回も楽しい企画を立てたいと思っております。

（記：岡崎）

各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 グループホーム たんぼぼ田口 072-898-2193
 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
 つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190
 つくしんぼ藤阪 072-868-2191
 たんぼぼ藤阪 072-868-2197

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
 地域医療相談室
 中村記念病院 072-868-2070
 なごみの里 072-868-2072
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 サテライトなごみの里 072-818-2071
 デイサービス長尾の里
 たんぼぼ長尾 072-868-2195
 訪問看護ステーション 072-868-2071
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 枚方市地域包括支援センター みどり 072-845-2002
 みどり保育所 072-850-7550

—— 編集後記 ——

やっと猛暑もやわらぎ、少し秋らしい感じになってきました。”スポーツの秋” 食欲の秋 “読書の秋”の過ごしやすい季節に入り、私も一昨年から続けておりますジム&プールトレーニングを通じて体力維持を図りたいと思っております。「みどりの風」もお蔭様で今回の秋号で30号になりました。皆様方に信頼される地域の病院、施設として情報の発信をしてみたいですので御支援・御指導頂きます様よろしくお願い申し上げます。

みどりの風発行委員会
 連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田